○本日の学習課題で「周りと相談して理解を深める」と記述していたが、類題を解かせる場面では個人で解かせていた。普段の授業でもそのようなスタイルをとっているか。

→初めての問題には一人で考えさせたい。今日のような類題においては、時間があればやはりグループワーク形式を取り入れたいと思っている。

○板書の際に「計算省略していいよ」と伝えてはいたがっつり省略していた。その辺りの補足もなかった点が気になった。

→時間の都合で省略してもいいと伝えたが、想像以上に省略されてしまった。その点について補足すべきであった。

・須田先生

○予習やグループワーク形式が徹底されていてよい。

→予習の際に教科書やノートを見返して復習しているようである。生徒同士で議論が出来るのもこのクラスの魅力である。

・冨樫先生

○本日のテーマは、クラスの生徒の何割くらいが理解できると想定していたか。

→普段使っている問題集に出来るだけ近い問題で、１コマの授業の中であまり多く時間がかからないような問題を選択している。クラスの半分くらいは出来ているようなイメージで課題を設定している。普段の授業ではほとんどの生徒が出来ない問題もあるが、そのようなときはこちらからヒントを多く提示している。今日は生徒が予想以上にできていてびっくりした。急遽問題を追加する形で対応した。

○グループワークは、グループごとの編成が大事である。できすぎてもできなさすぎても難しい。

→このクラスではそこまで考慮していなかったが、結果的にバランスよくなっている。様々な解法で解いているようである。

・奥山先生

○多くのグループが盛り上がっている中、黙々とノートを書いているグループがあってびっくりした。

→そのようなスタイルのグループではあるが、時々意見交換を行っている。

○あまり解けない生徒へのサポートはどのように行っているか。

→机間指導やグループワークで、出来る生徒・出来ない生徒は把握できる。適宜助言やヒントを与えるようにしている。

・和田先生

○グループワークがスムーズに行われている。１・２年生の授業において、例えば単元の途中でグループワーク形式を取り入れるとした際、何か違う点はあるか。

→活発な意見交換が出来ないグループもある。そのような際は教員が入ってヒントを出し、そのことによってグループワークが活発になる場合もある。できるだけグループワーク形式がうまく行われるように工夫している。